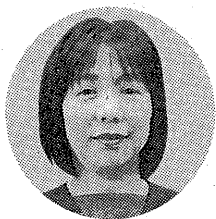


介護

の現場から

その44

私は、社会福祉法人一幸会の特別養護老人ホーム「池幸園」の開所と同時に介護員として働き、ここで介護のいろはを学びました。失敗を繰り返してはみんなて話し合いながら解決し、働きながらたくさん資格を取得することができました。健康園居宅および在宅介護支援センターの部署でケアマネジャー(介護支援専門員)として勤務し5年がたちました。施設サービスしか知らなかった当時の私は、高齢者の方々の在宅福祉に対する多種多様なニーズ(意向)に驚かされたものです。



健康園在宅介護支援センター・長谷川 朝美
居宅介護支援センター副主任

皆さんから【在宅介護支援と居宅介護支援】の違いや【支援センターの仕事】はどんなことをするのかよく聞かれます。今回はその違いなどを少し説明します。

【在宅介護支援】とは、鶴岡市の委託を受け、所長を含め5人の介護支援専門員が、担当エリアである第一学区、第四学区の要介護高齢者、もしくは要支援となる恐れのある高齢者、またはその家族に対し、在宅介護等に関する総合的な相談に応じます。そして必要なニーズに対して各種の保健・福祉サービスが総合的に受けられるようにお手

身近な相談窓口として

ボランティアの協力を得て、当センター内の和室にて、季節ごとにお茶のみサロンを開くなど、さまざまな催しを企画し、近所の高齢者の方々と交流しています。一人暮らしや高齢者世帯には第四学区社協と共催で、ボランティアの方や一幸会従業員との協力により、毎週木曜の昼食時に高齢者配食弁当の提供も行っています。

高齢者の方を対象として、運動不足になりがちの12月・2月の3カ月間、毎週木曜夕方に健康体力作り教室も開催します。デイサービスのホールを開放し、講師の協力を得ながら実施しています。

一人暮らしでお風呂がせ、生活の計画を一緒に不安な高齢者には水曜と土曜の午後1時半から同5時まで、池幸園および、ケアプランを作成し、デイサービスの風呂を開きます。その際には本人の意向、同居家族、遠く離れている別居家族の皆さんの意向にも耳を傾けます。

本人と家族のニーズの違つことがたびたびあり、何度も訪問を繰り返して顔を覚えていただき、信頼関係を築いてようやく決まったこともあります。Yさんは妻と2人暮らしの人々の協力で支えられています。日々感謝の気持ちで忘れずに、そして身近に援助を行う総合相談窓口として、気軽に立ち寄っていただける健康園介護支援センターでありたいと努力を続けていきます。

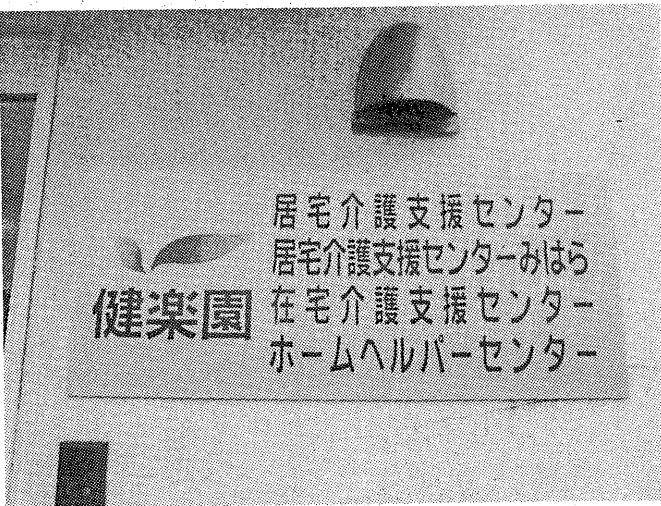
多種多様なニーズ

例えは、介護が必要な方には紙オムツ支給、通院等支援サービス、寝具洗濯乾燥消毒サービス、訪問理美容サービス、認知症高齢者見守りサービスが、一人暮らしの方には愛の福祉電話、愛の一声運動、除雪費の支給、在宅生活支援家事援助サービス、火災警報器や電磁調理器の給付等、たくさんサービスがあります。これらのサービスを申請する際には、対象にならない場合もありますから、当事業者や鶴岡市に問い合わせてください。

また、健康園在宅介護支援センター独自の介護予防サービスもあつます。

一人暮らしでお風呂がせ、生活の計画を一緒に不安な高齢者には水曜と土曜の午後1時半から同5時まで、池幸園および、ケアプランを作成し、デイサービスの風呂を開きます。その際には本人の意向、同居家族、遠く離れている別居家族の皆さんの意向にも耳を傾けます。

【介護支援センターの仕事】は、何ができて何ができないのか見極め、必要適切なサービスの提供をすることにあります。これらを称して居宅支援サービスと呼びます。私たちの業務はたくさんの方々の協力で支えられています。日々感謝の気持ちで忘れずに、そして身近に援助を行う総合相談窓口として、気軽に立ち寄っていただける健康園介護支援センターでありたいと努力を続けていきます。



日に日に歩行状態が悪くなり、2カ月ほどの間に何度が足を凍り、病気になる前の楽しみ等を聞いていたうち「将棋が好きでよく棋会所へ行ったものだ、思うように歩けなくなってきたら行けなくなつた」と聞き、私はこれだと思いました。将棋のできる利用者やボランティアの事業所を探して見学体験してもらいました。本人も納得し、現在は「とても楽しい。もっと早く来て将棋したかった」と週2回の通所サービスを歩行器も使わず1本づつ歩行できるまでに回復し、通所サービスを楽しんでいきます。

伝えます。

れました。